

恵み野中学校 学校だより



大きく翼を広げた鳥は、未来に羽ばたく若人の力を表し、平和の象徴であるオリーブは緑に囲まれた学園、生徒と教職員の信頼の和を表す。Mは恵庭を象徴する恵庭岳と恵み野のMを象徴している。

【教育目標】

- ・意欲をもって 自ら学ぶ
- ・正しく判断し 協力して活動する
- ・広い視野と 豊かな心をもつ
- ・命を尊び 健やかで たくましく生きる

令和7年 地域配付用 第9号



恵み野中学校の危機管理体制（熱中症予防）について

校長 野澤孝志

季節は秋を通り過ぎて初雪の便りが届き始めた10月末に北海道教育委員会から「学校における熱中症事故の未然防止に向けた取り組みについて」の連絡が届きました。その資料によると、令和7年度には、道内の公立学校で熱中症による救急搬送事案が過去5年間で最も多い45件発生しており、例年よりも早い4月や10月にも事故が起きているという深刻な状況だったとのことです。近年、北海道の気候は大きく変化し、生徒の安全を脅かす熱中症事故のリスクが著しく高まっています。以前より、暑さ対策として夏の長期休業期間を通常より長く設定するなど対応を図っていましたが、今後も学校全体で危機意識を高める必要があります。

これらの状況を踏まえ、各学校において、次年度に向けて熱中症対策等の実効性のある取組を現段階から検討を進めることとなりました。そこで、恵み野中学校での対応について以下の通り全教職員で研修を進め、整理いたしましたのでお知らせいたします。

【恵み野中学校の熱中症予防に関する重点的な取り組み】

1. 活動環境と判断基準の徹底（暑さ指数：WBGTの活用と柔軟な対応）

活動場所（屋内、屋外、体育館、特別教室等）に関わらず、暑さ指数（WBGT）の測定、把握を全教職員で徹底します。（校内にWBGT測定器30台を常備し保健体育科教諭、各担任、移動教室の際の持ち出しが常にできる状態としています。また、職員室内の教頭席の前にはカラー判別測定器を設置しています。）

- WBGTが31℃以上となる場合は、運動を原則中止する基準を厳守します。
- WBGTが28℃を超える場合は、体温が上昇しやすい運動は避けます。
- WBGTが低くても熱中症が発生する条件があるため、活動内容の代替、強度・回数の軽減、活動場所の変更といった柔軟な対応を徹底します。

2. 活動環境の整備（スポットクーラー、サーキュレーター等の適切な利用）

活動場所の状況に合わせ、スポットクーラー、サーキュレーター等の適切な活用を徹底します。また、屋内、屋外活動に関わらず、環境把握を怠らず、生徒の心身の健康を確保します。

3. 生徒の健康管理と「暑熱順化」の強化

熱中症は、体が暑さに慣れていない時期に発生しやすい特性があります。気温が高くなり始める時期や長期休業明けには、無理のない活動計画を立て「暑熱順化」の期間を十分に考慮します。また、体育活動や部活動の前には必ず、睡眠不足や疲労など熱中症に陥りやすい状況がないか、健康観察を確実に実施し、体調に応じた活動の軽減や休息を指示します。

4. 緊急時の迅速な対応体制の構築と「SOS」を出しやすい環境づくり

全教職員が熱中症発症時の緊急対応について共通理解を図り、生徒の命を守るための体制を確立します。意識障害が疑われる場合や自力で水分摂取ができない場合は、ためらうことなく速やかに救急車を要請し、重症化を避けることを最優先とします。生徒に対しては、体調に異変を感じた際には「困った、助けて」と教職員に申し出るよう改めて指導を徹底します。

<保護者の皆様へのお願い>

保護者の皆様におかれましても、お子様の登校前の健康観察、十分な睡眠、朝食摂取、水分・塩分補給のための準備など、日頃からの熱中症予防と体調管理へのご理解とご協力を願い申し上げます。学校、生徒、保護者が一体となり、生徒の健康と安全を最優先とする学校生活を実現してまいります。

また、学校生活中は何事もなくても、帰宅後に熱中症等が疑われる体調不良となる場合も考えられます。その場合には、学校まで速やかにお知らせ願います。

花壇コンクール 最優秀賞

本校の花壇が、第 59 回恵庭市花いっぱい文化協会主催の花壇コンクールで最優秀賞を受賞しました。日頃から生徒はもちろん、PTA や地域の方々のボランティアの力添えをいただきながら、心を込めて手入れを続けてきました成果です。講評には、「花壇の管理を日頃から丁寧にしている」「花に高低差をつけ、色の組み合わせにも工夫が見られる」「炎天下の中でもたくましく美しく咲き誇っていた」などの言葉が並びました。学校の花壇は、地域の皆さんとともに作り上げてきた“学校の顔”です。11月4日には、市民会館で行われた表彰式に、校長、生徒会環境委員長が出席し、喜びを分かち合いました。

全国花のまちづくりコンクール 優秀賞

第 35 回全国花のまちづくりコンクールの学校部門で優秀賞を受賞しました。全国規模のコンクールでの受賞となり、10月 30 日に東京都千代田区霞が関の法曹会館で表彰式が行われました。審査員からは、「中学校の伝統となっている花壇づくりが、学校だけでなく地域の花のまちづくりにも貢献している」「生徒が自主的に活動に参加する姿が素晴らしい」「郷土愛や学校愛が、静かに育まれている」との講評をいただきました。また、活動を支える教職員やPTA、地域団体の皆様の支援についても、高く評価されました。これからも、花を通して心が通い合う活動を進めていきます。



花の集会



土おこし



苗分け



除草ボランティア



環境委員会主催ボランティア



花壇閉鎖



アナベルボールづくり



12月の行事予定

日	曜	行 事	時間	繪	SC	部話
1	月	三者懇談⑤	4	○		○
2	火	三者懇談⑥	4	○		○
3	水	会議日	5	○		×
4	木	会議日	5	○	○	×
5	金	テスト前諸活動停止 放課後マイスクール 食の学習（3年）	6	○		×
6	土					×
7	日					×
8	月	会議日	6	○		×
9	火	1,2 年後期中間テスト 3 年学年末テスト（実技）	5	○		○
10	水	会議日	5	○		×
11	木	6 組スポーツ交流会	6	○		○
12	金	研修日	6	○	○	再
13	土					○
14	日					○
15	月	会議日	5	○		×
16	火	3 年学年末テスト（5 教科）	5	○		○
17	水		6	○		○
18	木		6	○		○
19	金	いじめを考える集会	6	○		○
20	土					○
21	日					○
22	月	委員会⑨ 全校道徳 SOS の出し方講座	6	○		○
23	火		6	○		○
24	水	大掃除	6	○		×
25	木	後期前半終了 全校集会	5	○		○
26	金	冬季休業開始 冬休み学習会				○
27	土					○
28	日					○
29	月	学校閉庁日 諸費納入日				×
30	火	学校閉庁日				×
31	水	学校閉庁日				×

税についての作文 朗読 短歌コンテスト 入賞

11月13日、北海道税務関係団体連絡協議会主催による「税を考える週間」協賛行事、「札幌国税局長講演会及び中学生の税の作文朗読会」に、2年生 1名が参加し、税についての作文を朗読しました。

第 20 回北海道小中学生短歌コンテストで入選しました。作品は、12月 6 日～1月 18 日、北海道立文学館ロビーにて展示されます。

入選 2 年生 2 名
二次審査通過 2 年生 3 名

手話講座

1年生は、「ともに生きる」をテーマに手話講座の学習に取り組みました。手話の技術や知識を覚えるだけでなく、関わりを大切にしながら生きていくことをねらいとしています。事前学習では、恵庭市手話言語条例や群馬県渋川市の取組動画を参考に、手話が持つ意味や役割について理解を深めました。当日は、千歳市聴力障がい者協会の方を講師に迎え、直接お話をうかがいました。

がん教育

2年生を対象に「がん教育」を行いました。自分や家族の誰もが発症する可能性のある「がん」について正しく理解し、適切に対処する力を身に付けることを目的としています。講師には、がん経験者である阿久津友紀さんをお招きし、ご自身の体験を交えながらお話をいただきました。生徒たちは、講話を通して健康や命の大切さ、支え合いの意味について深く考える時間となりました。

五暢建設株式会社から恵庭市へ300万円の寄付がありました。寄付金は恵庭市内の中学校吹奏楽部の楽器更新や小中学校の図書購入等に活用される予定です。

全校道徳

学生のイマをリアルに伝える外出系ラジオ「IMAREAL（イマリアル）」を担当されているFM北海道の森本優さんを講師に迎え、「なんで勉強するの～あなたの主人公」というテーマでお話しいただきました。過去8年間で出会った3万人の学生、訪問学校50校の実績から、本校生徒に「これからを生きる若者」への一つの示唆を享受する機会となりました。

ソクラテスミーティング

3年生を対象に「ソクラテスミーティング」を実施しました。地域の方々の協力により、11人の講師をお招きし、多様な職業や生き方にふれる機会となりました。生徒たちは、社会で働くことの意味や、自分の将来について考える大切さを感じ取っていました。それぞれが関心のある3人の講師の話を聞き、質疑応答を通して職業への理解を深めました。また、講話を通じて感じたことや学んだことをまとめました。

令和7年度 全国・学力学習状況調査の結果

4月17日（木）に中学3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

本調査は全国的な児童生徒の学力・学習状況と生徒一人一人の学力・学習状況等を把握し、今後の学習指導等に生かすことを目的としています。本校でもその目的を十分におさえ、確かな学力の定着や指導方法の工夫・改善に力を入れ取り組みます。

国語 【全国平均とほぼ同等】

- ※ ○よかった点 △課題点
- 文脈に即して漢字を正しく使うことができる（知識・技能）
 - 文章全体の部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる（読むこと）
 - △自分の考えが伝わる文章になるように、概要を明確にして書くことができる（書くこと）
 - △資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる（話すこと・聞くこと）

数学 【全国平均とほぼ同等】

- 「数と式の領域」数量を文字で用いた式で表すことができる（知識・技能）
- 「図形の領域」統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる（思考・判断・表現）
- △「データの活用」必ず起こる事柄の確率について理解している（知識・技能）
- △「データの活用」不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる（思考・判断・表現）

理科 【全国平均とほぼ同等】

- 「エネルギー」電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身についている（知識・技能）
- 「粒子」塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身についている（知識・技能）
- △「エネルギー」仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想することができる（思考・判断・表現）

生徒質問

- わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる
- 中学1,2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った
- △将来の夢や目標を持っている
- △困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる